

参 考 资 料

平成26年2月14日から15日にかけての 大雪に関する群馬県気象速報

目次

- 1 気象現象の発生状況（概況文）
- 2 観測資料（地上天気図・気象衛星画像・高層天気図・
レーダーエコー合成図・降水量等）
- 3 気象台が執った措置（警報・注意報、気象情報の発表状況表）
- 4 県内の被害状況

注）この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

前橋地方気象台
平成26年2月18日

1 気象現象の発生状況（概況文）

（1）資料作成の目的

2月14日から15日にかけて、低気圧の接近・通過により、関東甲信地方を中心に雷が降り続き大雷となり、群馬県では最深積雪を大幅に更新する記録的な大雷となった。

また、低気圧が発達しながら関東地方の沿岸を通過したため、各地で強風となり、大雨となった。

この大雷の影響により、なだれや建物の破損、停電など各地で被害が発生したほか、鉄道の運休や高速道路及び一般道の通行止めなど交通機関にも大きな影響を及ぼした。

このときの気象状況を取りまとめる目的で本資料を作成した。本資料は2月18日11時現在のものである。

（2）気象概況

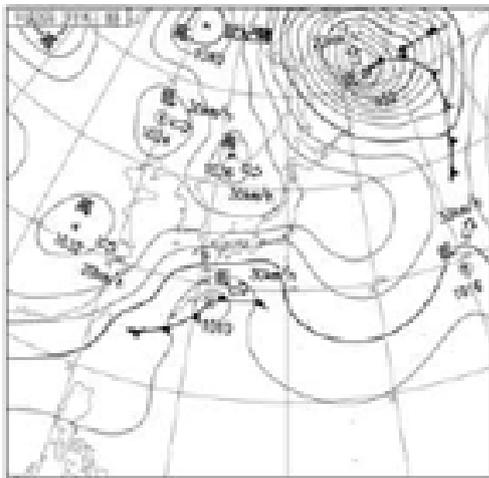
2月13日21時に南西諸島で発生した低気圧は、本州の南海上を北東に進み、次第に発達しながら15日明け方から昼頃にかけて関東地方沿岸に接近した後、関東の東を北東に進んだ。また、関東地方の上空約1500メートル付近には -6°C 以下の寒気に覆われていた。

この低気圧と上空の寒気の影響により、群馬県では、14日朝から雷が降りはじめ、先週（2月8日から9日）に引き続き大雷となった。特に、前橋では記録的な大雷となり、月最深積雪が73センチと統計開始以来の記録を更新した。また、14日から15日にかけてまとまった降水となり、伊勢崎の期間総降水量が137ミリとなったのをはじめ、南部を中心に期間総降水量が100ミリを超えた。

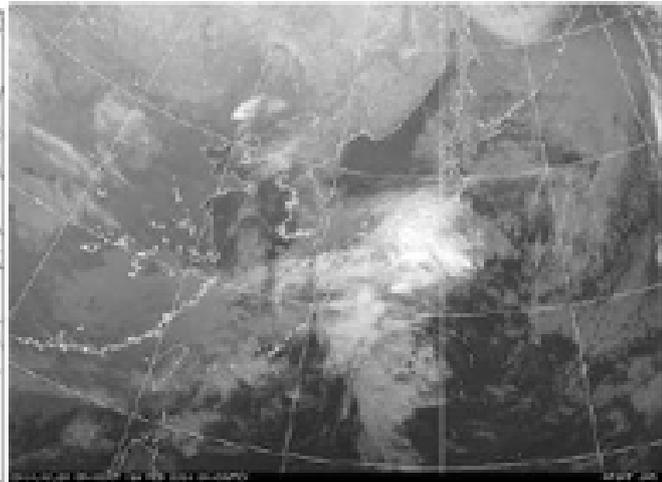
2月15日は低気圧が発達しながら関東の東を進んだことにより、群馬県内では北よりの強風が吹き、草津では北北西の風 22.2m/s 、桐生では北東の風 21.6m/s の日最大瞬間風速を観測し、共に2月の統計開始以来第2位の記録となった。

2 観測資料（地上天気図・気象衛星画像・高層天気図・レーダーエコー合成図・降水量等）

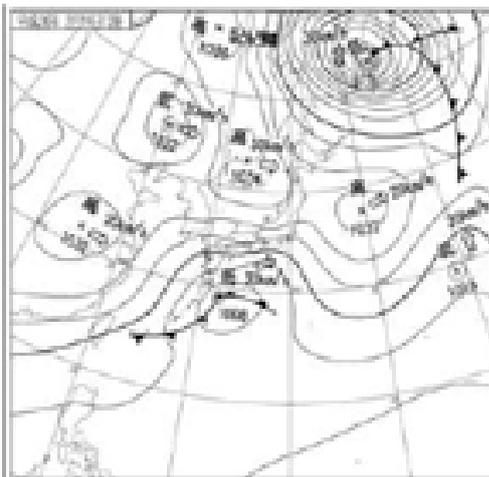
(1) 地上天気図・気象衛星画像



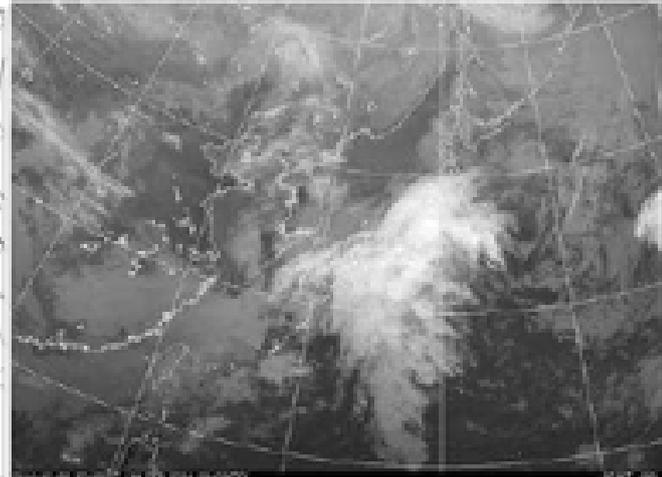
地上天気図 (2月14日 09時)



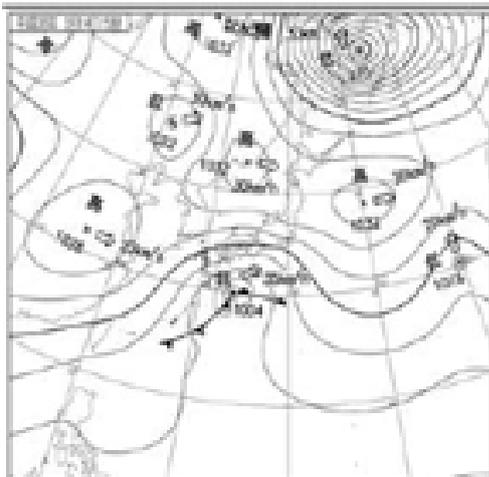
気象衛星赤外画像 (2月14日 09時)



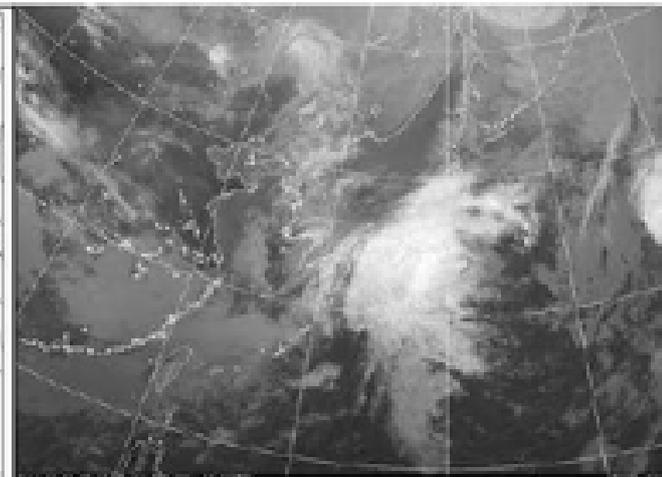
地上天気図 (2月14日 12時)



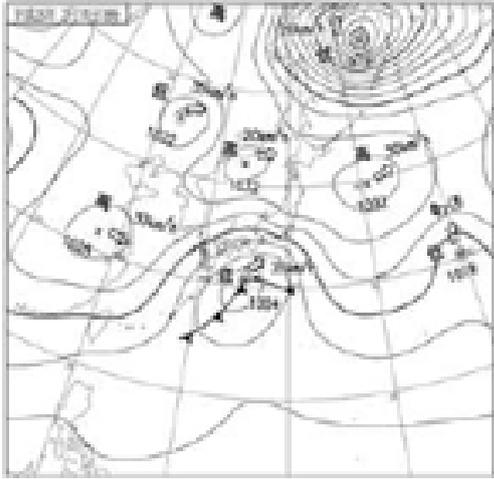
気象衛星赤外画像 (2月14日 12時)



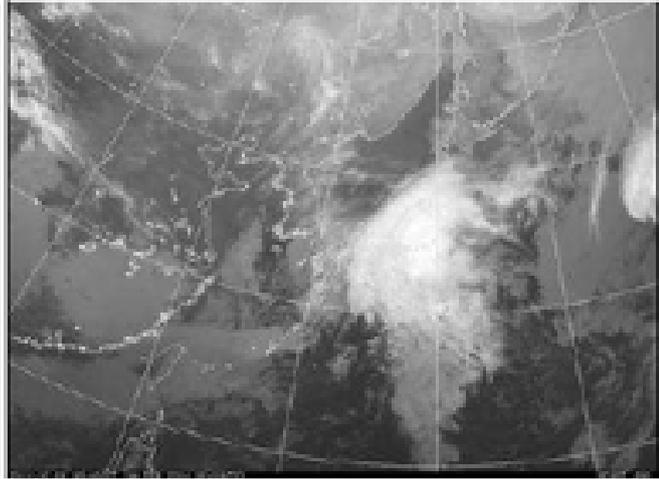
地上天気図 (2月14日 15時)



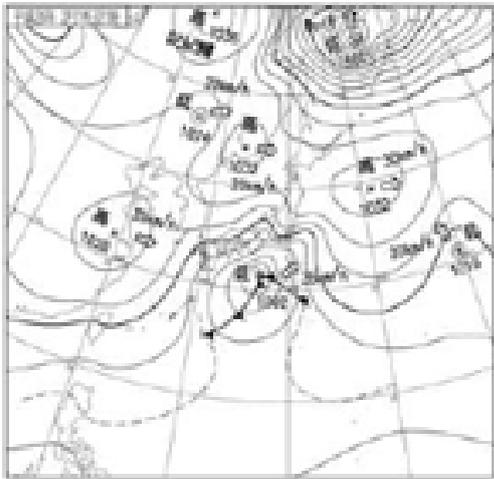
気象衛星赤外画像 (2月14日 15時)



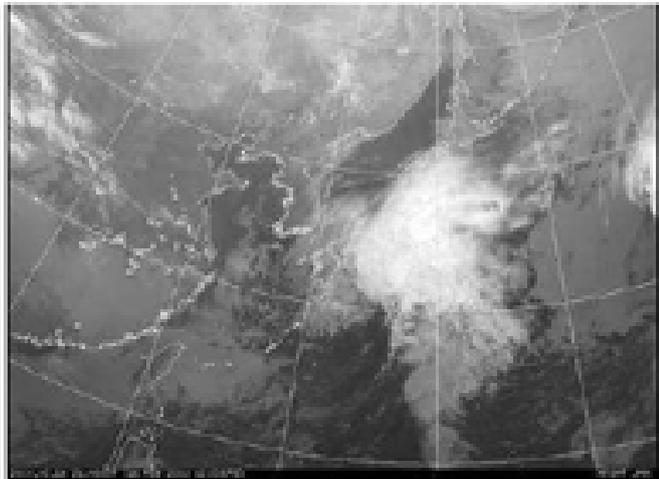
地上天氣圖 (2月14日18時)



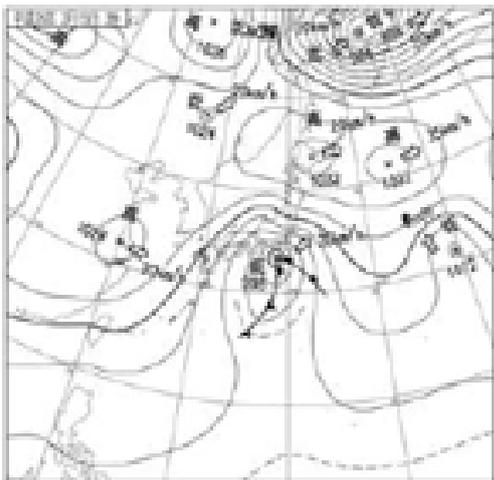
氣象衛星赤外圖像 (2月14日18時)



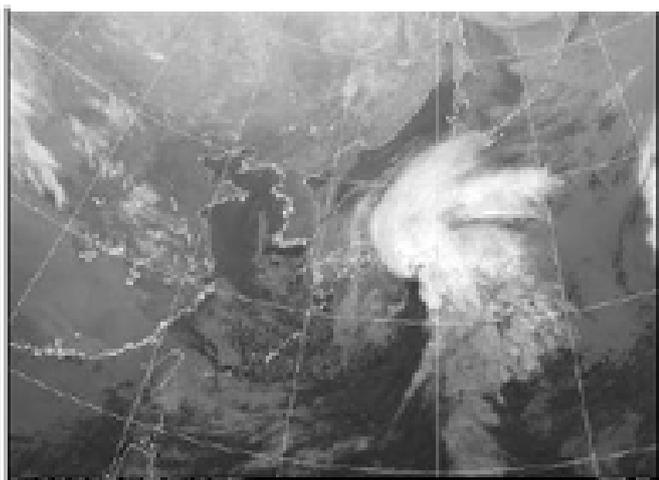
地上天氣圖 (2月14日21時)



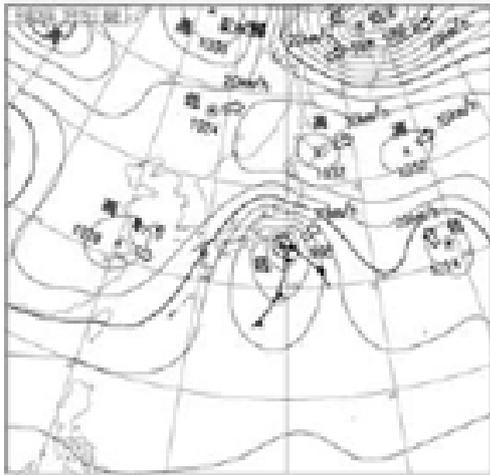
氣象衛星赤外圖像 (2月14日21時)



地上天氣圖 (2月15日03時)



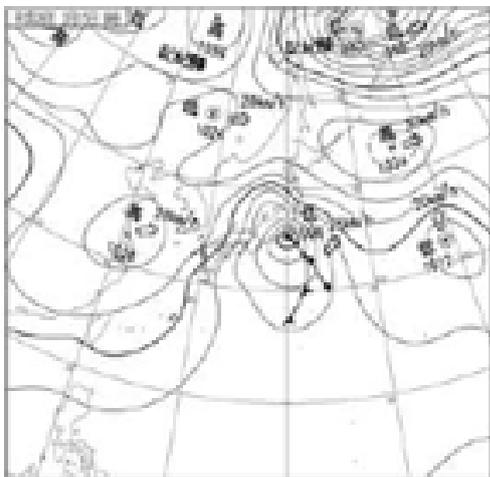
氣象衛星赤外圖像 (2月15日03時)



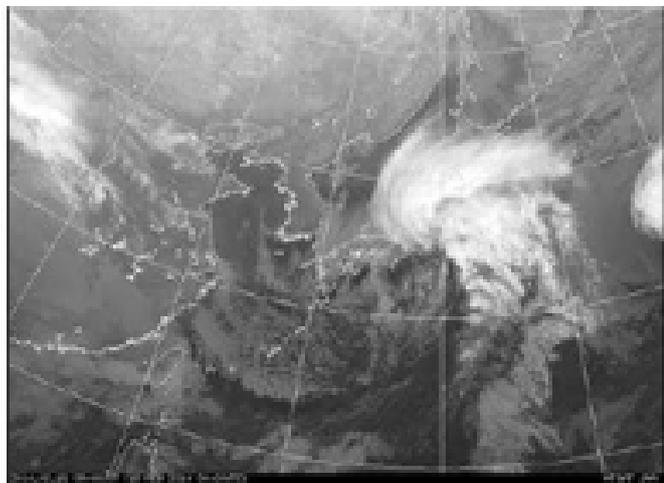
地上天気図 (2月15日06時)

降雹による「ひわまり7号」の
観測画像データの受信障害に伴い
当該時刻の画像は省略

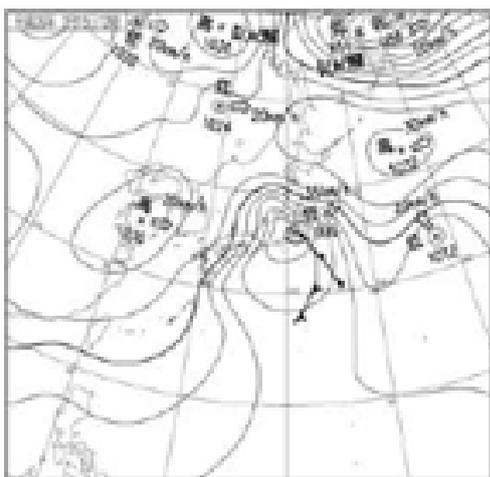
気象衛星赤外画像 (2月15日06時)



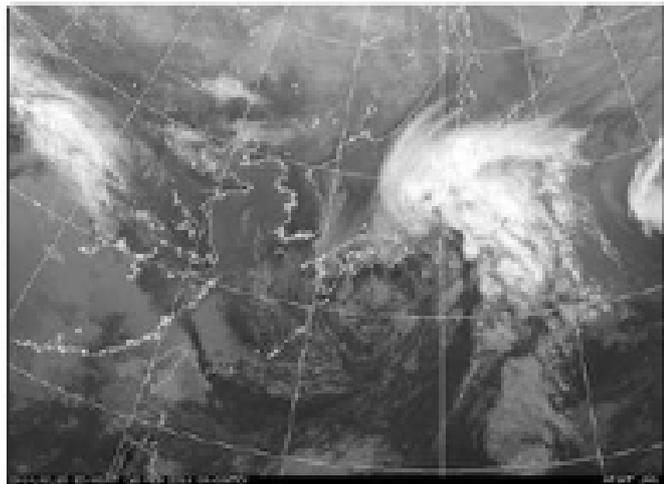
地上天気図 (2月15日09時)



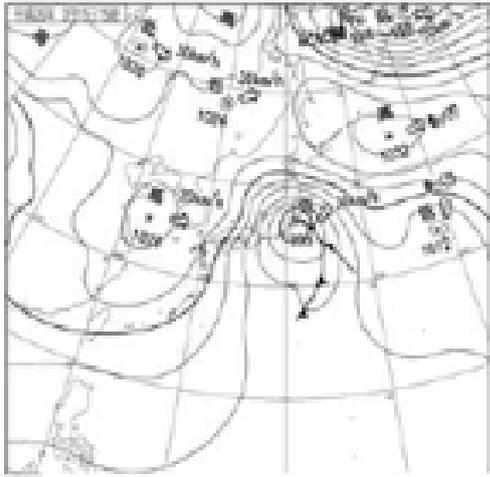
気象衛星赤外画像 (2月15日09時)



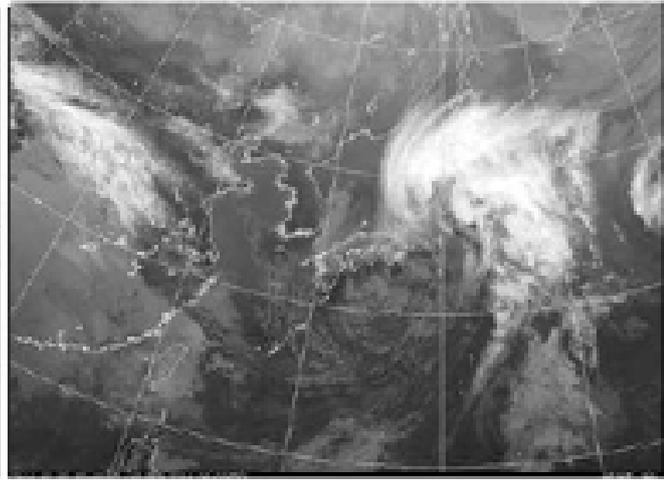
地上天気図 (2月15日12時)



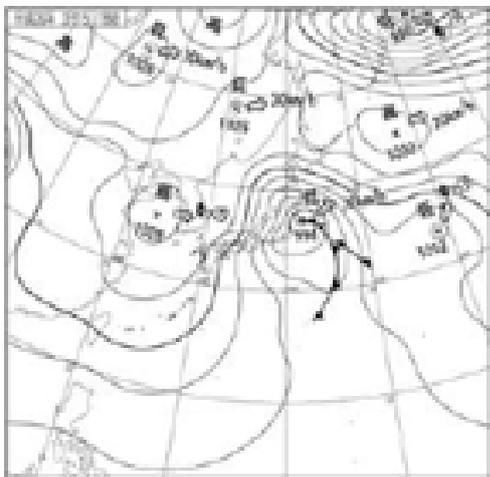
気象衛星赤外画像 (2月15日12時)



地上天気図 (2月15日15時)



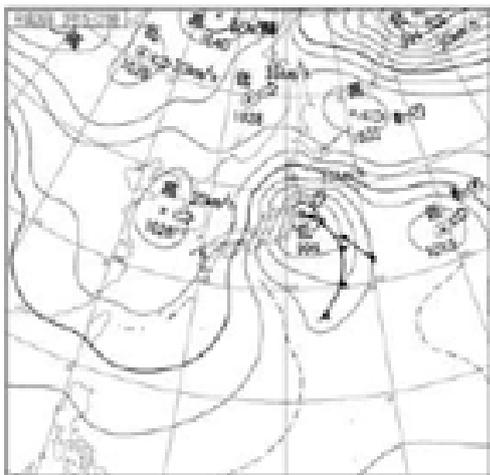
気象衛星赤外画像 (2月15日15時)



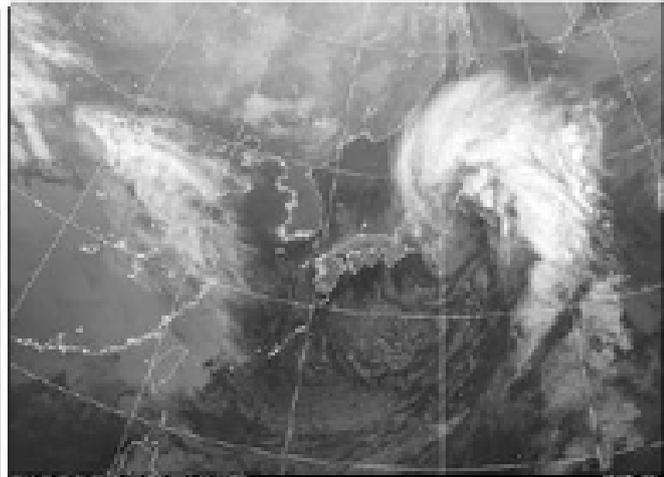
地上天気図 (2月15日18時)



気象衛星赤外画像 (2月15日18時)



地上天気図 (2月15日21時)



気象衛星赤外画像 (2月15日21時)